

福岡市議会の決算特別委員会で10月10日、日本共産党の星野美恵子市議は、福岡市の国民健康保険行政について質問しました。

カネの切れ目が、命の切れ目!?

「もう医者にかかれぬ」 保険証とりあげ最多の福岡市

国保料の滞納世帯からの保険証とりあげがすめられて

国保行政を全国放映するなど、注目されています。

国保は「社会保障」

「資格証明書」では病院窓口で医療費の全額(10割)を払わねばならず、保険証がないのと同じ。病気になっても病院にいけないのが実態です。病気が重くなり亡くなった例もあります。

国民健康保険とは、だれもが健康保険に加入し必要なとき医療を受けられる「国民皆保険」制度の柱。国保法第1条には「社会保障」の理念がうたわれています。

福岡市の保険証とりあげは1万4千世帯(国保世帯の5.6%)と、政令市で最多(さいたま市0%、名古屋市0.2%)です。

保険証をとりあげて市民を医療からしめだすことはしてはならないことです。

老人や被爆者からの保険証とりあげは国保法違反。NHKやテレビ朝日が福岡市の冷酷な

高すぎる国保料

「払いたくても払えない」

福岡市は「負担の公平性のため払っていただく。払わない悪質滞納者には差押えもする」と平然と言います。

しかし、国保世帯の8割、滞納世帯の9割近くが年所得2百万円以下。生活保護世帯などの低所得者にとって、国保料は「払える額」でしょうか。

年所得2百万円で3人家族の場合47万円。政令市の中で一番高く、川崎市や横浜市の倍近くです。しかも増税と連動して4年前の1.6倍です。

所得の2割を超す国保料では「払いたくても払えない」のが現実です。

(ウラへ続く)

政令市でこんなに違う国保料

所得割算定基礎額200万円の3人世帯で試算(06年度、年額、激変緩和措置を含まず)

横浜市	241,370円
川崎市	241,440円
広島市	245,141円
神戸市	245,300円
名古屋市	248,685円
千葉市	270,600円
北九州市	380,000円
福岡市	469,600円(政令市で1位)

なぜ福岡市の国保料はこんなに高いか

市は「国保料が高いのは総医療費が大きいため」と言ってきましたが、星野市議の質問に対し保健福祉局長は「相関関係はない」と認めました。

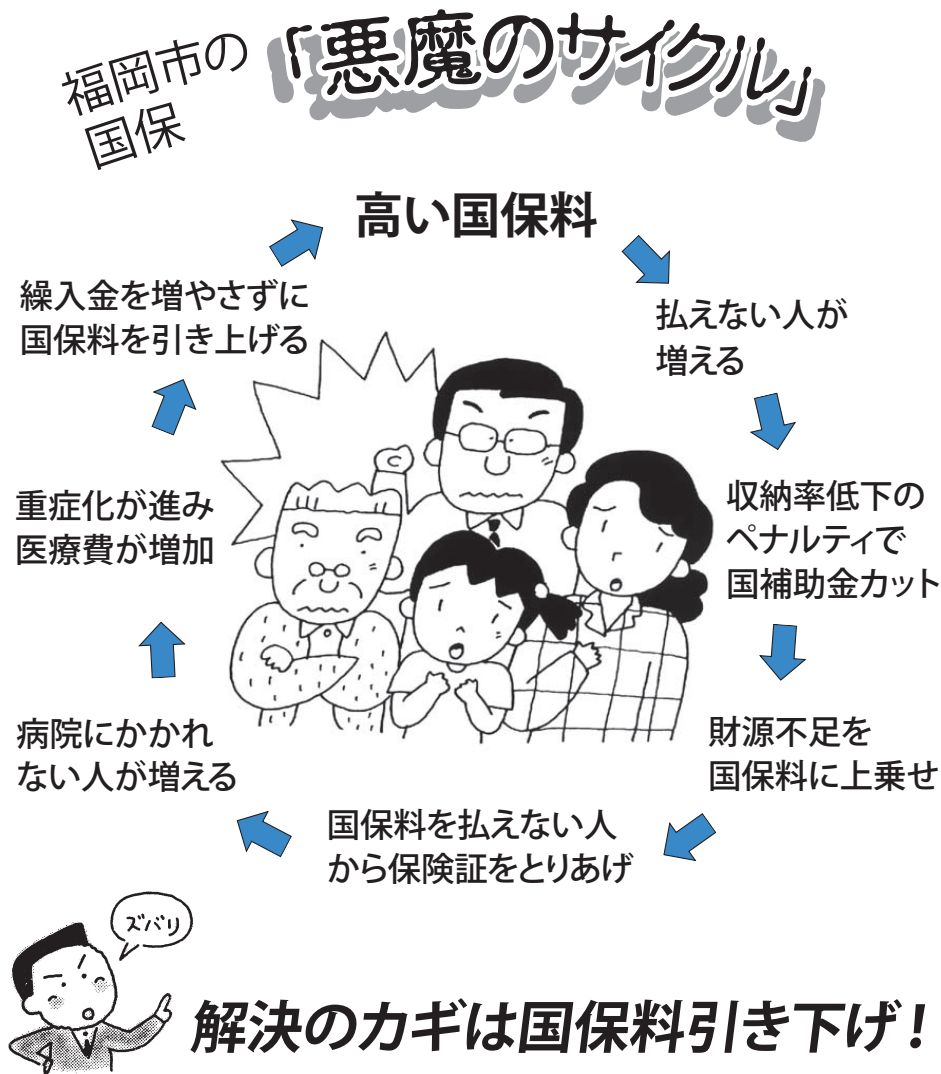
す。福岡市は67億円で一般会計のわずか1%（川崎市は2%）。この小さなが国保料を高くしている大きな原因です。

国保料の額を左右するのは、一般会計から国保会計への繰入金です。

一般会計からの繰入金をふやせば引き下げ可能

市は「毎年多額の繰り入れをしている」と言いますが、問題は各自治体が裁量で決める「法定外繰入金」で

福岡市も川崎市なみに繰入金を増やせば、国保料を一人平均1万5千円引き下げることができます。



「国保料引き下げ」署名は党派を超えて広がり、7万筆を突破しました。福岡市は、切実な声にこたえ、国保繰入金を大幅に増やして、国保料を引き下げざるべきです。

市民の力で国保料引き下げを実現しよう